

一般質問

佐々木 ひとみ 議員

地方創生を後押し 新スタイル観光と未来は



【質問】 800mの滑走路で48人乗りが飛べる新型機ATR42-600S型機が開発中である。これなら現空港で佐渡から首都圏、関西圏へ飛べる。地方路線に優先して再配分する事を考慮とのこと。観光客の呼び込みや地方創生を後押しするため、佐渡市も頑張つてほしいがどうか。

【市長】 冬のおいしい味覚や独特の風景をお得体験できる佐渡冬紀行を売出し、好評をいただいている。インバウンド誘客を図る中でも冬場に集客力があることから、パッケージ型の旅行形態が多い台湾の方には、昨年より、冬紀行と特定有人国境離島交付金を活用した体験パックを提案し、外国人の個人旅行者の方にはJRの外国人向けフリーパスと連携した佐渡バスを売出し、誘客と来訪しやすい環境整備と同時並行的に進めている。また、観光の新スタイルとして、農家民泊やゲストハウスに取り組んでいる事業者が佐渡でも人気になってきているようである。宿泊者同士あるいは宿の方とのコミュニケーションを通して地域との距離が近くなり、結果的に満足度

の向上につながり、滞在型観光の1つの理想スタイルと期待する。

【質問】 県の観光地満足度調査で両津地域初の1位と、過去最高になった要因を生かして観光は増えたと思うが、高級を好むお客様対応の企画はあるのか。

【市長】 飛行機とジェットオイルを使って島内5泊する高額ツアーや、豪華バスを持ち込み少人数でゆったりと島内を移動する等、質を重視している。今後もお客様のニーズを分析していきながら、商品の企画に反映させていくことが重要と考えている。

【質問】 三浦市政の柱の島内循環型経済推進で島内調達を8〜9割に持つて行くとしたが、現在はどうか。

【企画課長】 平成30年度は73%で、平成28年度比較で約4・5億円増である。

【質問】 4億円程度なら工事一つで増える金額だ。頑張ると答弁した弱い立場の障害者就労施設の調達はどうか。

【社会福祉課長】 前年度比較で0・5%減である。

【市長】 フランスのATR社の日本オフィスによると、新型機開発について今年度末までに正式発表される見込みであり、定期航空路再開に向け、関係機関を交えて情報収集等準備作業を進めている。将来的に条件を整えば前向きに検討したいと考えている。

【質問】 合併15年を経た今後10年間の佐渡市の方向性を決める最上位計画の「将来ビジョン」は地域別方針も含め今年度中に決める。従来の総合計画は市民参加で

【質問】 県内類似団体の十日町市は624万円で佐渡市が183万円。どう思うか。

【藤本副市長】 さらに努力を続けたい。

【市長】 説明会はしっかりとやるので審議してほしい。

【質問】 業務委託の効果はどうか。

【教育長】 将来的な人員削減のため経費削減の効果はすぐに出ない。地産地消・食育等は従来どおりでも

一般質問

中川 直美 議員

「説明責任」無視は 市民の信頼を失う



【質問】 三浦市政の柱の島内循環型経済推進で島内調度を8〜9割に持つて行くとしたが、現在はどうか。

【企画課長】 市民参加は21名。12月に原案を議会に示し、その後パブリックコメント等をする。

【質問】 「市民は株主」というが給食業務委託は説明会も終わっていないのに業者も選定し議案として出している。行政の説明責任の根本問題だ。取り下げろべきではないか。

【質問】 平成30年度は73%で、平成28年度比較で約4・5億円増である。

【質問】 4億円程度なら工事一つで増える金額だ。頑張ると答弁した弱い立場の障害者就労施設の調達はどうか。

【社会福祉課長】 前年度比較で0・5%減である。

【市長】 フランスのATR社の日本オフィスによると、新型機開発について今年度末までに正式発表される見込みであり、定期航空路再開に向け、関係機関を交えて情報収集等準備作業を進めている。将来的に条件を整えば前向きに検討したいと考えている。

【質問】 県の観光地満足度調査で両津地域初の1位と、過去最高になった要因を生かして観光は増えたと思うが、高級を好むお客様対応の企画はあるのか。

【市長】 飛行機とジェットオイルを使って島内5泊する高額ツアーや、豪華バスを持ち込み少人数でゆったりと島内を移動する等、質を重視している。今後もお客様のニーズを分析していきながら、商品の企画に反映させていくことが重要と考えている。

【質問】 通年観光を目指した経済施策、冬の佐渡のPR、農家民宿への期待はどうか。

【市長】 冬のおいしい味覚や独特の風景をお得体験できる佐渡冬紀行を売出し、好評をいただいている。インバウンド誘客を図る中でも冬場に集客力があることから、パッケージ型の旅行形態が多い台湾の方には、昨年より、冬紀行と特定有人国境離島交付金を活用した体験パックを提案し、外国人の個人旅行者の方にはJRの外国人向けフリーパスと連携した佐渡バスを売出し、誘客と来訪しやすい環境整備と同時並行的に進めている。また、観光の新スタイルとして、農家民泊やゲストハウスに取り組んでいる事業者が佐渡でも人気になってきているようである。宿泊者同士あるいは宿の方とのコミュニケーションを通して地域との距離が近くなり、結果的に満足度

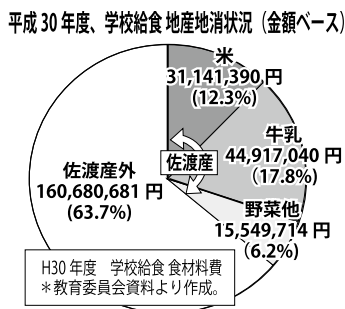
の向上につながり、滞在型観光の1つの理想スタイルと期待する。

【質問】 三浦市政の柱の島内循環型経済推進で島内調度を8〜9割に持つて行くとしたが、現在はどうか。

【企画課長】 平成30年度は73%で、平成28年度比較で約4・5億円増である。

【質問】 4億円程度なら工事一つで増える金額だ。頑張ると答弁した弱い立場の障害者就労施設の調達はどうか。

【社会福祉課長】 前年度比較で0・5%減である。



一般質問

支所長・サービスセンター長にも 決裁権限を

佐藤 孝 議員



【質問】 世界遺産国内推薦後の観光客受け入れ態勢として、宿泊施設の改修支援をどのようにするのか。

【市長】 平成30年度に初めて取り組んだ宿泊施設改修事業補助金は、申請を受付している中で様々な相談があったと聞いている。今後制度の内容に反映させ、より良い制度にしていきたい。
【質問】 公園の一元管理と今後の地域バランスを考えた整備について、一括管理できる組織を作らなければならないのではないか。

【市長】 今後の公園全体の地域バランスや行政改革推進委員会からのご意見も踏まえ、計画を具体化する必要がある。一元管理については行政改革推進委員会より専門部署の設置との意見もあり、管理体制を組み立てていきたいと考えている。

【質問】 現在特別養護老人ホームの入所待機者が464人いる。その中でも要介護4と5で在宅や入院中の「真に入所の必要な者」という方々が189人もいる。歌代の里は移転し民間運営との事だから、具体的なことは決まっているとと思うがいかがか。

【市長】 歌代の里は現在の両津文化会館駐車場を活用し、プレゼンテーション形式によるピアリングを行った上で事業者を選定したい。両津病院については今後速やかに基本設計に着手し、市民の皆様へ新しい両津病院の姿を具体的に示したい。

【質問】 支所長、行政サービスセンター長の決裁権限について、昨今各地区での住民要望に対する行政サービスがスムーズにいかない。住民サービスの低下にならないように佐渡市財務規則第3条を早急に見直し、庁議でも検討し支所長、行政サービスセンター長に決裁権限を与えるべきではないか。

【市長】 支所長、サービスセンター長には地域におけるリーダー的な役割を担い、積極的に地域に出て細かな地域の要望を吸い上げるよう指示をしている。庁議は最高決定機関。そこで決まったものは即やる。

【市長】 又、元気な地域づくり支援事業や安全・安心まちづくり事業は、ある程度の額を地域に配分し、地域間の融通も効かせ、支所長、サービスセンター長の決裁権限に入れるべきではないか。

【市長】 国が示している認知症施策推進総合戦略で、難聴等は認知症の危険因子の一つに挙げられている。市として当面防衛因子とされている認知訓練や余暇活動、生活習慣病の予防や社会参加などの日常生活の取り組みが認知機能の低下の予防につながる可能性が高いことを踏まえ、現在の取り組みをさらに充実していきたい。なお、加齢による難聴により、日常生活でコミュニケーションがとりにくくなるのが認知症やうつ病の発症に大きく関わるという調査結果がある。国や県に補聴器購入の補助制度に関する意見が各方面から出されているとの情報もある。そこで、動向を注視していく。

一般質問

認知症予防に 補聴器購入の補助制度を

中村 良夫 議員



【質問】 佐渡市の認知症の方の状況を問う。

【市長】 平成31年3月31日現在3280人で、高齢者人口に占める割合は約15%で、国や県よりも高い。2025年には約5300人と見込んでいる。
【質問】 難聴の放置が認知症の原因になることから、認知症予防に補聴器購入の補助制度を求める。

【市長】 国が示している認知症施策推進総合戦略で、難聴等は認知症の危険因子の一つに挙げられている。市として当面防衛因子とされている認知訓練や余暇活動、生活習慣病の予防や社会参加などの日常生活の取り組みが認知機能の低下の予防につながる可能性が高いことを踏まえ、現在の取り組みをさらに充実していきたい。なお、加齢による難聴により、日常生活でコミュニケーションがとりにくくなるのが認知症やうつ病の発症に大きく関わるという調査結果がある。国や県に補聴器購入の補助制度に関する意見が各方面から出されているとの情報もある。そこで、動向を注視していく。

【質問】 加などの日常生活の取り組みが認知機能の低下の予防につながる可能性が高いことを踏まえ、現在の取り組みをさらに充実していきたい。なお、加齢による難聴により、日常生活でコミュニケーションがとりにくくなるのが認知症やうつ病の発症に大きく関わるという調査結果がある。国や県に補聴器購入の補助制度に関する意見が各方面から出されているとの情報もある。そこで、動向を注視していく。

【市長】 国、県や他市の動向を踏まえ検討していく。
【質問】 ※新生児聴覚スクリーニング検査とは：早期に難聴の有無を発見するために、生まれたばかりの赤ちゃんに行う聴覚検査のこと。

【市長】 他自治体で、介護保険の認定が非該当となつた方への助成を行っているが、事例も承知しているが、市としては自宅等での転倒を防止するための介護予防策として、運動機能、口腔機能等の向上のための各種運動教室や太鼓教室等の取り組みを今後進めていく。



一般質問

知恵も汗も出せないものは去れ



祝 優雄 議員

【質問】 佐渡市は「国家戦略特別地域諮問会議」に事業提案をしたことがあるか。

【市長】 国家戦略特区に提案したことはない。

【質問】 「道の駅」を考えているようだが、設置要件は、

【市長】 道の駅設置要件は、安全な道路環境の提供・無料で24時間利用できる休憩機能・駐車場・トイレや情報発信などである。

【質問】 行政が絡まないで設置出来ないが、特区制度を活用した場合設置要件は同じか。

【市長】 国家戦略特区について研究していない。

【質問】 特区を活用することで民間でも設置ができる。規制緩和・税制・金融支援など幅広い支援が受けられる。省庁が管轄するのではなく、総理が座長を務めトップダウンで進める事業

だ。都市再生・観光・医療・福祉・保育・雇用・教育・農林水産・近未来技術など45の分野に及ぶ。今佐渡市で最も必要なのはトップダウンだと思うがどうか。

【市長】 議員の指摘、国家戦略特区への取り組みに足りない部分があると思う。しっかりと研究しどのような攻め口があるのか宿題とさせていただきます。

【質問】 そのような甘っちょろい話でよいのか、今市長に求められるのはトップダウンの指導力だ。財力の弱い佐渡市に有利な制度を取り入れる知恵が必要だ。特区制度を徹底研究すべきではないか。

【市長】 指示を出させていた

【質問】 「中曽根総理の国鉄改革。土光臨調」の大詰め

で、土光さんの発言で流れ

が決まった。「知恵のあるものは知恵を出せ、知恵のないものは汗を出せ」その次にくる言葉を市長は承知しているか。

【市長】 申し訳ない。覚えて

【質問】 市長はその時期マスコミにいた人ではないか。最後に「知恵のあるものは汗を出せ、知恵のないものは汗を出せ、知恵も汗も出せないものは、去れ」と言ったのである。この言葉が土光臨調を成功に導いた。まさしくトップダウンの指導力だ。今、佐渡市に一番欠けているのは市長の正しいトップダウンの指導力ではないか。

【市長】 様々な形で知恵をだし、財源を確保しなければならぬのが行政の立場である。頑張らせていただきます。

【質問】 佐渡市将来ビジョンについて、目指す方向が大きく

依存している状態というところが大きく特に普通交付税が大半を占めている状況である。起債残高は、現在は減少傾向にある。

一般質問

佐渡が大きく変わるターニングポイントに



稲辺 茂樹 議員

【質問】 佐渡市将来ビジョンについて、目指す方向が大きく

【市長】 現行の佐渡市将来ビジョン及び佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、持続可能な循環型社会の実現に向けて数値目標を設定し、進捗を高めるよう取り組んでいる。次期

将来ビジョンは佐渡市の最上位計画として、本市の最重要課題である人口減少対策や今までの取り組みで浮き彫りとなった課題等を精査し反映していきたいと考えている。

【質問】 佐渡市の財政、プライマリーバランスも含めてどう

という状況か。

【財政課長】 当市は、国県に依存している状態というところが大きく特に普通交付税が大半を占めている状況である。起債残高は、現在は減少傾向にある。

【質問】 人口減少というのは、難しい問題であり、2040年当市の人口予測が4万人弱とされているが、人口が増えている自治体の特徴は、地産地消率が非常に高いことであり、地域資源をフルに活用しているということである。

三条市が始めたプロジェクトは、地元の木を切つて発電し、東京電力に売電することで雇用を生んでいること、佐渡市の林野面積はどれくらいか。

【農林水産課長】 森林の面積は、6万882ヘクタールである。

【質問】 1ヘクタール当たり

30万円の試算で、約200億円となり20年、割ると約10億円となる。約300人の雇用が発生すると試算できる。森林再生事業交付金があると聞くが、この活用について問う。

【市長】 今年度から森林環境譲与税が国から交付され、3年後から本格化する。それに向けて、地域の森林の調査を開始している。いわゆる地産の木材の活用もそうだが、森林整備していくための間伐材を処理の再利用等も含めた中で、組み立てていかなければいけないと考えている。



一般質問

後藤 勇典 議員

UIターナーが安心して子育てできる島へ



【質問】 病児保育の進捗状況についてどうなっているか。

【市長】 現段階の保護者ニーズ、医療機関との連携体制の構築が図れない等のことから、現在設置についての目途は立っていない。

【質問】 体調不良型の病児保育を民間だけでなく公立保育園にも導入してはどうか。

【市長】 看護師確保等の課題があり、医務室での応急処置、保護者への連絡で対応している。

【質問】 ファミリーサポートセンターの課題と対応策についてどのように考えるか。

【子ども若者課長】 会員同士の交流会については、実施が必要だと感じている。図書室等の利用については、担当部署と協議の上、利用可能なところから始めたい。家事支援サービスについては、今後拡充に向けて二

ズを把握しながら必要に応じて広めていきたい。

【質問】 佐渡子育て親育ち応援ブックをかつてのようないややすく中身の濃いものに戻す予定はあるか。

【子ども若者課長】 情報の出し方、ホームページ等の改定も含め検討して欲しいと要望がある。PDF化については、検討材料にしたい。

【質問】 民間イベントで託児所設置の要望があつた際、市はどの程度協力できるか。

【市長】 佐渡市事業共催及び後援承諾に関する取扱要綱に基づき、共催を承諾した事業について主催者と相談の上、協力していきたい。

【質問】 教育行政に係るアウトソーシング推進計画の進捗状況についてはどうなっているか。

【教育長】 スクールバスの運行管理業務についてはまだ

課題が多いと感じる。図書館業務については地域や市民と密接な関係が必要であること等から委託業務には馴染まないと考ええる。

【質問】 学校給食に力を入れることで佐渡へ移り住んだ人が本当に良かったと思えるよう市としても取り組んで欲しいとの意見があつた。これを佐渡への移住定住者を呼び込むための武器にすることはできないものか、じっくり検討してはどうか。

学校給食の外部委託については、選定審査における見積金額の評価項目を外すと決定事業者が入れ替わっているのではないか。

【学校教育課長】 事業者は県内の他市町村でも実績があるため、同じようにやっても

課題が多いと感じる。図書館業務については地域や市民と密接な関係が必要であること等から委託業務には馴染まないと考ええる。

一般質問

荒井 眞理 議員

市の緊急かつ重要課題に優先順位をつけよ



【質問】 佐渡の出生数は現状の問題を放置すれば5年後には年100人を切る可能性がある。児童福祉費は昨年度36億円、今年度33億円だ。3億円復活させ頑張っていた方がいいがどうか。

【市長】 直近で解決できる策は私自身ないと考えている。

【質問】 市民の安心、安全、自由のための人権啓発推進について問う。なぜ市長は人権キャラバンを4年間欠席したか。知事メッセージは読んでいるか。

【市長】 公務と重なった。メッセージは読んでいる。

【質問】 主張したいことがあるれば暴力、暴言、威嚇の手段は許されると考えるか。

【市長】 よくないことである。

【質問】 市長は職員の模範となるよう行動しなければならぬ義務があるが自ら暴言を吐いたことはどうか。

【市長】 根拠なき暴言は絶対いけないと考える。

【質問】 根拠があればよいのか。義務を推進する立場として失格である。暴力、暴言の支配下に置かれ何十年も我慢し辛さと闘っている市民は少なくない。その実態を把握しているか。

【民生生活課長】 把握していないが啓発教育に努める。

【質問】 不登校の子どもたちにあすなる教室は、相川、両津に設置が必要ではないか。畑野の実績は無い。大人の事情に子どもを付き合せてはいけぬがどうか。

【学校教育課長】 可能性を含めて今後考えていきたい。

【質問】 昔の学校環境以上に教員は仕事を抱え、超過勤務に追われている。教師でなくてもできる業務の整理、人員配置が必要ではないか。新たなスクールサポートスタッフの配置はどうか。

【学校教育課長】 市教委と校長会等から必死に働きかけて獲得した。働きかけは続けていきたい。

予算要求を続けており、国等の状況を見ながら教育関係の充実には力を入れていきたい。

【質問】 給食センターの業務委託に計画も合意形成もない。業者選定審査表を見るとお金で決まったのか。

【学校教育課長】 見積額も重要である。

【質問】 市長から未来を見据えた広い佐渡のまちづくりについて一度も聞いたことがない。タウンミーティングをしない理由は何か。

【市長】 地域に入り込んでの集いに切り替えた。